

焼津市水道事業中期経営計画
達成状況
最終報告書
(平成 22～26 年度)

平成 27 年 12 月

焼津市水道部

目 次

I	中期経営計画について	1
II	事業計画及び実績	1
1	水需要予測	1
2	主要施策	2
(1)	安全でおいしい水の安定供給	2
(2)	災害に強い水道の確立	2
(3)	経営の健全性の確保	2
(4)	お客様サービスの充実	3
3	設備投資計画及び実績	4
4	中期財政収支計画及び実績	6
(1)	収益的収入及び支出	6
(2)	資本的収入及び支出	7
(3)	損益勘定留保資金及び利益剰余金	8
5	企業債残高	8
6	中期経営指標	8
III	環境負荷低減への取組み	9
1	建設工事における資源リサイクルの推進	9
2	省エネルギー対策の推進	9
IV	計画達成状況の総合評価	10
V	計画達成状況の公表	
1	公表時期	10
2	公表方法	10

I 中期経営計画について

水道事業は、独立採算により経営を行う公営企業であると同時に、水道利用者に安心・安全な水を安定的に供給する義務があります。近年の節水意識の高揚、節水機器の普及等により水需要が伸び悩む一方で、老朽化が進む施設、水源及び管路の更新や、東海地震等に対する災害対策の充実等の必要性が高まっていることから、より一層企業経営を意識した事業運営により健全性を維持し、安心・安全な水を安定的に供給できるよう、将来の水需要を踏まえて計画的に更新を行う必要があります。

このようなことから、第5次焼津市総合計画に掲げられた「安全な水の安定供給」を実現するため、また、焼津市水道ビジョンの趣旨を踏まえた事業運営を行うため、平成22年1月に、平成22年度から平成26年度までの5年間を計画期間とする「焼津市水道事業中期経営計画」を策定し事業を進めてきました。このたび、平成26年度決算により計画期間が満了しましたので、実績に基づき最終報告いたします。

II 事業計画及び実績

1. 水需要予測

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
行政人口（人）	計画	143,469	143,237	143,005	142,773	142,541
	実績	143,442	142,771	144,543	143,564	142,453
給水人口（人）	計画	142,543	142,378	142,147	141,916	141,686
	実績	142,516	141,845	143,617	142,638	141,527
普及率（%）	計画	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%
	実績	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%
一日平均給水量（m ³ ）	計画	61,410	60,524	60,090	59,659	59,235
	実績	61,825	60,604	59,434	59,612	58,519
一日最大給水量（m ³ ）	計画	72,930	71,870	71,350	70,840	70,340
	実績	71,977	71,246	67,333	68,576	66,287
年間給水量（m ³ ）	計画	22,414,650	22,151,784	21,932,850	21,775,535	21,620,775
	実績	22,566,307	22,181,179	21,693,565	21,758,412	21,359,359
年間有収水量（m ³ ）	計画	20,254,000	20,091,570	19,958,930	19,881,185	19,804,535
	実績	20,781,962	20,420,181	19,937,518	19,778,432	19,305,024
有収率（%）	計画	90.4%	90.7%	91.0%	91.3%	91.6%
	実績	92.1%	92.1%	91.9%	90.9%	90.4%

水需要では、節水意識の高揚や節水機器の普及などに加え、行政人口・給水人口の減少により年間給水量及び年間有収水量も減少傾向にあり、平成26年度の計画と実績を比較すると給水人口で159人、年間有収水量で499,511m³下回りました。有収率については計画より1.2ポイント下回ったため、引き続き漏水調査を計画的に実施するとともに、老朽管更新により有収率向上に努めます。

2. 主要施策

(1) 安全でおいしい水の安定供給

①水源の計画的な更生修繕による取水量の確保

平成 22 年度に中新田 18 号水源の二重ケーシング工事を行いました。

平成 24 年度に祢宜島 10 号水源及び六軒屋水源の更新工事を行いました。

平成 25 年度に中新田 6 号水源の更新工事を行いました。

平成 26 年度に中新田 13 号水源の更新工事を行いました。

②計画的な管路の更新

石綿セメント管改良は、区画整理事業などの他事業関連区域を除いて平成 22 年度までに完了し、平成 26 年度末の残は 3,871m になりました。老朽管の更新では、平成 22 年度からの 5 年間で 63,264m の管路を更新し、全管路の 7.2% を更新しました。

③老朽施設の更新

配水場等の水道施設については、日常点検や定期的な診断と修繕により設備の延命を図っています。また、老朽化施設の更新では、平成 22 年度からの 2 年間で上泉配水場配水池の更新、平成 24 年度からの 3 年間で中新田配水場管理棟の更新を行いました。中新田配水場施設については、水需要に見合った施設改修を行いました。

以上、計画どおり事業を実施し、安全でおいしい水の安定供給に努めました。

(2) 災害に強い水道の確立

①配水場の耐震化

平成 22 年度からの 2 年間で上泉配水場配水池、着水井、場内配管の整備を行いました。また、平成 24 年度からの 3 年間で中新田配水場管理棟、着水井、場内配管の整備を行いました。

これらの整備により全ての配水場において、配水池の耐震化並びに施設更新が終了しました。

②総合的な水運用の検討

配水ブロック化を行うことで、被災時にはブロック単位での復旧が可能となるなどのメリットがありますが、配水ブロック化するためには、相当の管路の布施替えや配水場の運転方法の変更に伴う維持管理費の増など多額の費用が必要となることから、当面の間は現在の配水ブロック網を維持していくこととします。

③危機管理体制の確立

焼津市災害応急計画の随時の改訂、防災資機材の見直しをしました。また、防災訓練を定期的実施し、訓練内容も定期的に見直しました。

また、危機管理マニュアル、新型インフルエンザ等対策マニュアルを策定しました。

以上、概ね計画どおり事業を実施し、災害に強い水道の確立に努めました。

(3) 経営の健全性の確保

①財政計画の推進

平成 22、23 及び 24 年度に企業債の公的資金補償金免除繰上償還を行い、136,218,436 円の利息軽減を図りました。経営計画の見直しを随時行い、企業債借入は必要最小限としました。大井川広域水道企業団の経営対策会議等に参加し、事業内容のチェックや今後の経営計画等について積極的に関与しました。

②業務の効率化

庁舎清掃業務などの建築設備保守管理業務委託等については、再点検して、委託内容の削減、委託の廃止などを行い、併せて、適否を見極めたうえで可能なものは、競争契約の導入により経費を削減しました。

③有収率の向上

配・給水管の漏水調査委託や、一般市民からの通報等により5年間で377件の漏水修繕を迅速に行いました。また、老朽管の更新を計画的に行うことで未然の漏水防止に努めました。

配水管更新時や給水管漏水修繕時に併せて鉛製給水管の取替えを行いました。また「広報やいづ」やホームページにより、住宅の建替えなどの際に、使用者に鉛製給水管の取替えをしていただくよう広報しました。

以上、計画どおり実施し、経営の健全性の確保に努めました。

(4) お客様サービスの充実

①広報・広聴活動の充実

焼津市ホームページに、水道事故等の緊急速報を時間外であっても掲載できるように改善し、迅速な情報提供を実施できるようにしました。広報やいづ及び水道事業ホームページに、宅内漏水発見方法などの身近な情報及び経営状態等を定期的に掲載し、情報提供を実施しました。夏休み親子施設見学会を実施し、水質を含めた水道事業のPRを行いました。

②給水サービスの充実

水圧や用途などの要件が整っている三階建てや高層共同住宅での直結給水を進めるため、協議の際に直近での水圧測定を実施しました。

また、今後の給水装置の維持管理や建物の増改築の際に役立てていただくよう、お客様に給水装置工事竣工図の送付サービスを継続しました。

以上、計画どおり実施し、お客さまサービスの充実に努めました。

3. 設備投資計画及び実績

【計画】

年 度		平成22年度	平成23年度
水源施設関連事業		上泉1号水源ポンプ取替ほか	
配水場関連事業	祢宜島配水場		3系導水管布設 テレメータ取替 高台施設電気計装設備 高崎第1調整池築造 高崎第1調整ポンプ取替 坂本ポンプ場ポンプ取替
	中新田配水場	緊急遮断弁電気設備 場内配管	
	上泉配水場	配水池築造 場内配管 着水井築造	配水池築造 場内配管 着水井築造 配水池電気・計装・滅菌設備
	六軒屋配水場 高台施設		
配水管布設事業	新設工事	配水管新設	配水管新設
	更新工事	老朽管更新 石綿セメント管改良 他事業関連に伴う更新	老朽管更新 他事業関連に伴う更新
事業費合計		1,060,824	1,053,000

【実績】

年 度		平成22年度	平成23年度
水源施設関連事業			
配水場関連事業	祢宜島配水場	3系導水管布設	
	中新田配水場	緊急遮断弁電気設備 場内配管	14号水源導水管布設
	上泉配水場	配水池築造 場内配管 着水井築造 1号水源ポンプ取替 2号、4号水源導水管布設	配水池築造 場内配管 着水井築造 配水池電気・計装・滅菌設備
	六軒屋配水場	水源場内整備	水質計器移設
	高台施設		坂本加圧ポンプ所No.3ポンプ取替
配水管布設事業	新設工事	配水管新設	配水管新設
	更新工事	老朽管更新 石綿セメント管改良 他事業関連に伴う更新	老朽管更新 他事業関連に伴う更新
事業費合計		822,795	682,949

(単位：千円)

平成24年度	平成25年度	平成26年度	事業費計
			12,492
		坂本ポンプ場ポンプ取替 元小浜調整池築造	362,000
管理棟築造 着水井築造	管理棟築造 管理棟電気設備 着水井築造 着水井電気・計装・滅菌装置 1～4系導水管 配水ポンプ	送水管 管理棟電気設備 自家発電機設備	1,293,550
2号導水管	4号導水管		563,000
配水管新設	配水管新設	配水管新設	301,600
老朽管更新 他事業関連に伴う更新	老朽管更新 他事業関連に伴う更新	老朽管更新 他事業関連に伴う更新	1,683,182
368,000	871,000	863,000	4,215,824

(単位：千円)

平成24年度	平成25年度	平成26年度	事業費計
祢宜島10号水源さく井 六軒屋水源さく井	中新田6号水源さく井	中新田13号水源さく井	85,164
	1号水源導水管移設 中央監視制御設備(テレメータ、 高台施設電気計装設備)	中央監視制御設備(テレメータ、 高台施設電気計装設備)	186,596
管理棟築造 管理棟電気設備 管理棟機械設備 16号水源導水管布設	管理棟築造 管理棟電気設備 管理棟機械設備 電気設備(計装装置) 機械設備(配水ポンプ、滅菌装置) 自家発電設備 場内配管・着水井築造	電気設備(計装装置) 機械設備(配水ポンプ、滅菌装置) 自家発電設備 場内配管・着水井築造 緊急遮断弁設置 2系導水管布設 水道無線移設	1,236,148
場内整備 警備機器設置		4号水源導水管布設	396,153
			3,937
			2,950
配水管新設	配水管新設	配水管新設	43,419
老朽管更新 他事業関連に伴う更新	老朽管更新 他事業関連に伴う更新	老朽管更新 他事業関連に伴う更新	2,326,557
483,378	812,007	1,479,795	4,280,924

4. 中期財政収支計画及び実績

(1) 収益的収入及び支出 (税抜)

(単位：千円)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
収益的収入	計画	2,318,681	2,308,956	2,294,100	2,285,393	2,276,208
	実績	2,379,235	2,326,982	2,273,822	2,258,945	2,347,471
営業収益 給水収益 受託工事収益 その他営業収入	計画	2,295,878 2,243,810 46,697 5,371	2,286,056 2,250,256 30,400 5,400	2,271,200 2,235,400 30,400 5,400	2,262,493 2,226,693 30,400 5,400	2,253,908 2,218,108 30,400 5,400
	実績	2,354,379 2,303,895 43,959 6,525	2,295,200 2,263,644 26,882 4,674	2,242,897 2,207,755 31,179 3,963	2,225,220 2,196,156 24,810 4,254	2,163,675 2,145,618 15,306 2,751
営業外収益 受取利息及び配当金 他会計負担金 長期前受金戻入 雑収益	計画	22,803 9,929 — — 12,874	22,900 10,000 — — 12,900	22,900 10,000 — — 12,900	22,900 10,000 — — 12,900	22,300 9,400 — — 12,900
	実績	24,856 11,718 — — 13,138	31,782 12,490 1,392 — 17,900	30,925 12,742 5,332 — 12,851	33,725 11,664 5,799 — 16,262	183,796 10,665 4,446 155,655 13,030
収益的支出	計画	2,195,357	2,306,152	2,203,139	2,176,095	2,169,847
	実績	2,120,628	2,233,736	2,074,427	1,982,718	2,553,473
営業費用 給与費 動力費 薬品費 受水費 受託工事費 委託料 修繕費 減価償却費 資産減耗費 一般管理費	計画	2,025,862 192,650 105,943 6,741 425,191 43,000 239,898 86,512 828,747 29,851 67,329	2,143,875 193,700 100,000 7,000 426,338 29,000 240,000 90,000 868,337 125,500 64,000	2,048,093 194,700 100,000 7,000 425,191 29,000 240,000 110,000 842,702 35,500 64,000	2,033,022 195,700 100,000 7,000 425,191 29,000 240,000 110,000 826,631 35,500 64,000	2,034,185 196,700 100,000 7,000 425,191 29,000 240,000 110,000 826,794 35,500 64,000
	実績	1,949,445 168,376 84,897 4,994 425,106 40,438 231,783 85,701 818,451 37,969 51,730	2,090,296 162,390 88,547 5,353 426,236 22,592 223,358 81,003 818,393 209,327 53,097	1,938,072 164,335 89,885 6,264 425,120 28,554 223,851 152,181 784,100 26,731 37,051	1,864,153 172,120 94,110 5,418 423,687 22,747 228,959 74,684 774,264 16,730 51,434	2,138,586 165,750 101,523 7 425,060 13,794 216,693 49,460 756,539 350,714 59,046
営業外費用 支払利息 雑支出	計画	169,495 166,159 3,336	162,277 159,277 3,000	155,046 152,046 3,000	143,073 140,073 3,000	135,662 132,662 3,000
	実績	171,183 166,273 4,910	143,440 139,502 3,938	136,355 134,368 1,987	118,565 116,542 2,023	112,454 111,122 1,332
特別損失	計画	—	—	—	—	—
	実績	—	—	—	—	302,433
当年度純利益 (又は純損失)	計画	123,324	2,804	90,961	109,298	106,361
	実績	258,607	93,246	199,395	276,227	(206,002)

(2) 資本的収入及び支出 (税込)

(単位:千円)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
資本的収入	計画	347,860	283,700	83,700	312,833	342,535	
	実績	615,354	415,576	485,393	286,573	645,566	
企業債 工事負担金 他会計補助金 長期貸付金償還金 その他	計画	200,000	200,000	—	200,000	200,000	
		145,754	83,700	83,700	83,700	83,700	
		—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	29,133	58,835	
		2,106	—	—	—	—	
		521,000	320,000	416,000	200,000	500,000	
	92,248	95,576	69,393	57,440	76,105		
	—	—	—	—	10,626		
	—	—	—	29,133	58,835		
	2,106	—	—	—	—		
資本的支出	計画	1,610,114	1,623,087	899,737	1,393,736	1,393,448	
	実績	1,659,847	1,226,811	1,230,114	1,358,168	2,060,618	
建設改良費 事務費 (給与費) (委託料) (一般管理費) 工事費 (配水管等布設:単独) (配水管等布設:他事業) (配水場関連工事) 固定資産購入費 企業債償還金 長期貸付金	計画	1,218,153	1,248,700	507,200	1,010,700	1,003,200	
		151,249	187,700	131,200	131,700	132,200	
		(96,786)	(97,300)	(97,800)	(98,300)	(98,800)	
		(50,716)	(87,000)	(30,000)	(30,000)	(30,000)	
		(3,747)	(3,400)	(3,400)	(3,400)	(3,400)	
		1,060,824	1,053,000	368,000	871,000	863,000	
		(467,962)	(126,000)	(126,000)	(126,000)	(126,000)	
		(280,820)	(183,000)	(183,000)	(183,000)	(183,000)	
		(312,042)	(744,000)	(59,000)	(562,000)	(554,000)	
		6,080	8,000	8,000	8,000	8,000	
	385,961	374,387	392,537	383,036	390,248		
	6,000	—	—	—	—		
	実績	944,908	821,120	591,045	959,933	1,662,923	
		117,752	126,091	100,632	124,862	171,486	
		(88,065)	(86,407)	(79,534)	(73,146)	(92,511)	
		(27,749)	(38,509)	(17,738)	(50,049)	(63,814)	
		(1,938)	(1,175)	(3,360)	(1,667)	(15,161)	
		822,795	682,950	483,378	814,730	1,479,795	
		(557,145)	(143,660)	(211,068)	(311,881)	(436,010)	
		(195,651)	(214,359)	(173,417)	(148,983)	(172,426)	
(69,999)		(324,931)	(98,893)	(351,142)	(871,359)		
4,361		12,079	7,035	20,341	11,642		
708,939	405,691	639,069	398,235	397,695			
6,000	—	—	—	—			
不足額	計画	▲ 1,262,254	▲ 1,339,387	▲ 816,037	▲ 1,080,903	▲ 1,050,913	
	実績	▲ 1,044,493	▲ 811,235	▲ 744,721	▲ 1,071,595	▲ 1,415,052	
補填財源	消費税資本的 収支調整額	計画	46,313	30,000	30,000	30,000	30,000
		実績	36,343	30,372	24,011	41,540	90,450
	損益勘定留保資金	計画	858,098	903,337	786,037	953,296	861,794
		実績	870,211	780,863	720,710	1,030,055	786,972
	利益剰余金処分額	計画	357,843	406,050	—	97,607	159,119
		実績	137,939	—	—	—	537,630
補填不能額	計画	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	

平成 22 年度から平成 25 年度までは計画以上の純利益が計上できました。平成 26 年度は新会計基準を適用した結果、特別損失が発生し純損失となりましたが、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出とも、概ね計画どおり執行しました。

(3) 損益勘定留保資金及び利益剰余金

(単位：千円)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
損益勘定留保資金	計画	—	—	91,665	—	—	
	実績	—	188,114	278,260	39,439	—	
利益剰余金	計画	1,176,698	773,452	864,413	876,104	823,346	
	実績	1,717,975	1,811,221	2,010,616	2,286,843	5,292,953	
	減債積立金	計画	295,815	302,015	302,215	306,815	312,315
		実績	296,815	309,815	314,815	324,815	338,815
	建設改良積立金	計画	757,559	468,633	471,237	459,991	404,670
		実績	1,162,553	1,162,553	1,496,406	1,685,801	1,410,399
	未処分利益剰余金	計画	123,324	2,804	90,961	109,298	106,361
		実績	258,607	338,853	199,395	276,227	▲206,002
	その他未処分利益 剰余金変動額	計画	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	3,749,741
年度末残高	計画	1,176,698	773,452	956,078	876,104	823,346	
	実績	1,717,975	1,999,335	2,288,876	2,326,282	5,292,953	

平成 26 年度から適用した新会計基準により、その他未処分利益剰余金変動額（現金の裏付けなし）が計上されたことにより、利益剰余金が大幅に増加しました。このその他未処分利益剰余金変動額 3,749,741 千円と純損失 206,002 千円を相殺し、残額 3,543,739 千円は、現金の裏付けがない利益剰余金のため平成 27 年度に資本金に組み入れることとしました。

その結果、平成 26 年度末利益剰余金残高 5,292,953 千円から資本金に組み入れることとした 3,543,739 千円を差し引いた利益剰余金は 1,749,214 千円となり計画を上回り、今後の資本的支出に活用してまいります。

5. 企業債残高

(単位：千円)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
企業債残高	計画	5,824,613	5,650,226	5,257,688	5,074,652	4,884,405
	実績	5,822,634	5,736,943	5,513,874	5,315,639	5,417,944

企業債については、老朽管更新事業、上泉配水場整備事業及び中新田配水場整備事業に充当し、借入利率や資金状況を勘案し計画より多くの企業債を借り入れたことにより、企業債残高は計画を上回りましたが、過大な状況にはありません。起業債借入については、今後の整備計画や資金計画を勘案し、必要最小限としていくように努めます。

6. 中期経営指標

項 目		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
経常収支比率 (%)	計画	105.6	100.1	104.1	105.0	104.9
	実績	112.2	104.2	109.6	113.9	104.3
営業収支比率 (%)	計画	113.3	106.6	110.9	111.3	110.8
	実績	121.0	109.7	115.8	119.5	101.1

項 目		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
職員一人当たり給水収益 (千円)	計画	97,557	97,837	97,191	96,813	96,439
	実績	104,723	102,893	105,131	104,579	102,172
供給単価 (円)	計画	110.8	112.0	112.0	112.0	112.0
	実績	110.9	110.9	110.7	111.0	111.1
給水原価 (円)	計画	106.3	113.3	108.9	108.0	108.1
	実績	100.1	108.3	102.6	99.1	115.9
給水収益に対する 企業債償還金 (%)	計画	17.2	16.6	17.6	17.2	17.6
	実績	16.8	17.0	18.2	18.1	18.5
給水収益に対する 企業債支払利息 (%)	計画	7.4	7.1	6.8	6.3	6.0
	実績	7.2	6.2	6.1	5.3	5.2
給水収益に対する 職員給与費 (%)	計画	8.6	8.6	8.7	8.8	8.9
	実績	7.3	7.2	7.4	7.8	7.7

平成 26 年度の経常収支比率、営業収支比率及び給水原価については、費用の増加（主に中新田配水場整備事業に伴う資産減耗費の増）により計画を下回っていますが、平成 26 年度の特種要因であるため、一時的なものです。経常収支比率及び営業収支比率は 100% 以上のため健全の水準は維持しています。

職員一人当たり給水収益は計画を上回り、また給水収益に対する職員給与は計画を下回りましたが、これは職員の縮減により業務の効率化を図ったためです。

供給単価は計画を下回り、経年水準を維持しております。

給水原価は、平成 26 年度は中新田配水場整備事業に伴う資産減耗費の増により計画を上回りましたが、平成 22 年度から平成 25 年度までは計画を下回り、経年水準を維持しております。

給水収益に対する企業債償還金は、給水収益が年々減少したために計画を上回っておりますが、過大な状況にはありません。

給水収益に対する企業債支払利息は、公的資金補償金免除繰上償還により計画を下回り、将来負担を軽減しました。

Ⅲ 環境負荷低減への取り組み

1. 建設工事における資源リサイクルの推進

現場発生土の再利用や再生材の利用を積極的に推進しました。また、地球温暖化防止対策として、排出ガス対策型の建設機械を指定し使用しました。

2. 省エネルギー対策の推進

平成 24 年度に整備着手した中新田配水場について水需要に見合った施設とし、インバータポンプ等の高効率機器を導入しました。

庁舎使用電力については、平成 22 年度からデマンド監視装置を導入するとともに、様々な節電対策を施し、使用量を毎年削減することができました。公用車については、環境に配慮した仕様の車を購入しました。

以上、計画どおり実施し、環境負荷低減に努めました。

IV 計画達成状況の総合評価

数値指標及び事業計画については、ほぼ計画どおり達成することができました。引き続き、安心・安全な水の安定供給、経営基盤の強化による健全経営、中長期的視点に立った効率的な事業執行に取り組んでまいります。

V 計画達成状況の公表

1. 公表時期

平成 27 年 12 月

2. 公表方法

焼津市水道事業ホームページへの掲載、市情報公開コーナーなど